

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第6区分

【発行日】平成17年10月27日(2005.10.27)

【公開番号】特開2004-51119(P2004-51119A)

【公開日】平成16年2月19日(2004.2.19)

【年通号数】公開・登録公報2004-007

【出願番号】特願2002-207538(P2002-207538)

【国際特許分類第7版】

B 6 5 D 51/20

B 6 5 D 47/36

B 6 5 D 47/40

【F I】

B 6 5 D 51/20

B 6 5 D 47/36 D

B 6 5 D 47/40 Z

【手続補正書】

【提出日】平成17年7月12日(2005.7.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

頂板に内容液の注出筒を立設し押出容器の口部に取り付けた中蓋と、
該中蓋に着脱自在に螺着し前記注出筒を塞ぐ筒状栓を天壁内面に設けた上蓋とからなり、
前記中蓋の注出筒は小径にして、且つ前記注出筒は破断可能な脆弱部及びこれを破断して
開封すると共に、前記注出筒から延出した開封具を設けた閉塞板を有し、前記開封具はその
延出部分を前記上蓋の筒状栓内に収納するようにしたことを特徴とする押出容器用蓋。

【請求項2】

前記注出筒の内径は6mmないし13mmの範囲にあり、前記開封具の長さが前記注出筒の内径の1.5倍以上である請求項1記載の押出容器用蓋。

【請求項3】

前記開封具は閉塞板から支柱を介して斜め上方に伸びる楕円形状のプルリングである請求項1または2記載の押出容器用蓋。

【請求項4】

前記開封具は閉塞板周縁の対向する位置から上方に伸びるU字状のプルリングである請求項1または2記載の押出容器用蓋。

【請求項5】

前記注出筒は錐形をなし先端がラッパ状注出部となっており、前記筒状栓はその全周端が前記ラッパ状注出部に当接してなる請求項1ないし4のいずれか1項記載の押出容器用蓋。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

また、本発明によれば、前記注出筒の内径は6 mmないし13 mmの範囲にあり、前記開封具の長さは前記注出筒の内径の1.5倍以上である上記押出容器用蓋が提供される。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

また、本発明によれば、前記注出筒は錐形をなし先端がラッパ状注出部となっており、前記筒状栓の全周端が前記ラッパ状注出部に当接してなる上記押出容器用蓋が提供される。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】削除

【補正の内容】